

東区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
地域スポーツ活動推進事業		東区ふれあい事業実行委員会			
事業目的	事業効果	活動指標	R2	R3	R4
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通じた区民の親睦と連帯感を醸成する。 ・区民の健康づくりのため、地域スポーツ活動を振興する。 ・住民自治の拠点である東区役所は、スポーツを通じての市民参加のまちづくり(機会づくり・人づくり・組織づくり)を地域と協働して推進する。 ・区民が主体的に取り組むことを促進する。 	地域スポーツ活動が活発となることで、区民間の親睦・連帯感の深化が見込めるとともに区民の健康づくりに寄与する。また、地域との協働及び区民の主体性を促進することで、区民間及び区と区民との協働を図り、市民参加のまちづくりに寄与する。若年層のスポーツ活動への誘導、中年層・老年層の生涯スポーツ活動の継続推進にも効果が期待される。	実施校区数	4校区	4校区	6校区
①妥当性		②協働の視点		③インパクト	
○	地域スポーツ活動の場を設けることで、「する」スポーツを促進しつつ、区民の健康づくりにつなげることが可能となる。また、スポーツを通して区民が交流することにより、親睦と連帯感が深まることも期待できる。	◎	地域のニーズに合わせたスポーツイベントを行政ではなく、校区ごとに区民が自ら企画・運営することで、地域ニーズや現状に即したスポーツイベントの実施が可能となるだけでなく、区民参加、区民協働の推進につながっている。	○	地域性に沿った、スポーツイベントを実施しているため、校区の特性が活かされるインパクトのある事業であるといえる。
④効率性		◎			
○		校区規模のスポーツイベントの企画・運営を、区民が自主的かつ積極的に実施しているため、効率性の高い事業であるといえる。			
⑤自立発展性		総合評価			
△	地域スポーツ活動への参加意欲の向上を図るうえで、地域が主体となって実施しているが、区と区民との協働の観点及び費用面においては行政と共に実施していく必要がある。	○	幼児から高齢者まで幅広い世代が参加する複数校区による合同スポーツ大会が本事業を活用して実施されていることから、スポーツ活動を通じて、区民の自主性や協働の促進、健康づくり、区民間の交流が図れているといえる。		
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	毎年継続してスポーツ活動を実施している校区が多く、スポーツ活動への第一歩の場及び生涯スポーツ活動の場として一定の効果があるといえる。また、コロナ禍で中止していたスポーツ活動を再開する校区も見られるなど、徐々にコロナ前の活動水準に戻ってきており、今後も本事業の利活用を推進していく必要がある。				